

# 「 Wa・Ka・Ba 」

## ☆投稿紹介☆

- ・おすすめ本の紹介 『学園キノ』（電撃文庫） 著者 時雨沢 恵一  
出版社 メディアワークス



五月さんの投稿

投稿、ありがとうございます！！2つのシリーズ合わせて読んでみると楽しそうですね♪

えんぱーく図書館2階、10代のみなさんのための本を集めた若葉のコーナーと、3階図書館の掲示板に、投稿用紙と投稿ポストがあります。お気軽に投稿してください。  
みなさんの投稿、お待ちしております♪

# 特集：若葉ボードができました！

えんぱーく3階の音楽練習室近くに、図書館の掲示板があるのをご存じでしょうか。今までは、若葉のコーナーに入ってきた新着書やお知らせなどを掲示していましたが、みなさんからの声を大切にしながら、図書館のことをもっと知ってもらいたいと思い、あらたに『若葉ボード』を設置しました！



『若葉ボード』では職員がそれぞれテーマを考えて、おすすめしたい本などを紹介しています。1か月ごと交代で各自工夫をこらしたボード作りを行っています。左の写真は3月の若葉ボードで、「ことば」をテーマに作成しました。

また、同じ場所に設置されたポストに投稿していただいたみなさんのおすすめ本や声なども一緒に掲示させていただきます！少しでも楽しんでもらえるようがんばりますので、図書館にお越しの際はぜひこちらの方にも足を運んでみてください！



緑を基調としたかわいらしいポストになっています♪  
投稿用紙もご用意してありますのでお気軽に投稿してくださいね！

## 知ってた?! 旬杓

「スーパー・チューズデー」って聞いたことある？

予備選挙と本選挙、大きく2つに分かれているよ！

今年はアメリカ合衆国の大統領選挙が開催される年。共和党候補ドナルド・トランプ氏の過激な発言もあり、日本での注目度も、高くなっています。今回はアメリカの大統領選挙について取り上げます！

アメリカの大統領選挙は4年に1度、約1年かけて行われます。形は間接投票（有権者が直接投票で候補者を選ぶ選挙ではなく、有権者が代表（例 代議員、選挙人）を選び、選ばれた人が候補者を選ぶ仕組み。）ですが「国民が選ぶ」という点で国中がイベントのように盛り上がるようです。アメリカの議会は、民主党と共和党の二大政党が争っていて、大統領もこの百年以上、どちらかの政党から選ばれています。

民主・共和両党の候補者を1人にしぼる「予備選挙」では、1月から半年以上の間で、各州の有権者が、自分が選びたい候補者を支持している「代議員」に投票します。

予備選挙の最大のヤマ場は「スーパー・チューズデー」（キリスト教では日曜日が安息日となっているため日曜日に被らないよう遠方から来る人々の移動日を月曜日とし、伝統的に火曜日が投票日とされています。）と呼ばれる（今年は3月1日）火曜日で、10州以上で予備選挙・党員集会が集中して行われました。そして共和党、民主党、それぞれに行われる「全国党大会」で、全国の代議員が集合し、党公認の大統領候補が指名されます。

最後の本選挙は、共和党候補と民主党候補の「一騎討ち」となり、約2カ月間の選挙戦に入ります。投票日は11月8日。ここでも、有権者は各州の「選挙人」を選んで投票します。どの候補者が選ばれるのでしょうか。

今年から選挙権年齢が18歳以上となりました。日本の政治にも興味をもってください！

今回のナビゲーターは  
テレビ番組で音響デザインをしている  
三澤恵美子さんです。

1. 仕事の内容を教えてください。

テレビ番組の音響のデザインという仕事をしています。番組の全体の音の設計を行っています。主にドキュメンタリー番組や情報番組の担当で、番組のテーマ曲やBGMを選んだり、作曲家さんに音楽制作を依頼したりしています。番組は「視聴者のみなさんに、何かメッセージを伝えたい」という思いで作られています。

そのメッセージは、「目に見えないけれどとても大切なこと」だったりしますが、音楽や音がつくことによってより分かりやすく、見ている方の心に届くようになればいいなと思います、仕事をしています。

2. 仕事に就いたきっかけや、なりたかった理由を教えてください。

小さい時から、テレビを見るのがとても好きでした。まだインターネットなどがなかった時代だったので、テレビは自分の知らない世界への入り口、いわば「どこでもドア」のような存在でした。テレビ番組から本当にいろんな事を学びました。そして中学時代、音楽の先生が東京でオペラを歌っていた方で歌声を生でお聴きしたことがありました。その歌の迫力と美しさに圧倒され、音楽との出会いになり

ました。その後、高校生の時、日本で小澤征爾さんが指揮するコンサートを聴く機会があり、小澤さんから「さあ行くぞー！」というすごいオーラを発しながら登場し、演奏もまたものすごくエネルギーで感動的でした。一瞬にして人の心を動かすことのできる「音楽の力」というものを体で感じ、一気に音楽にのめり込み、将来、音楽やテレビの仕事に就きたい！と、強く思うようになりました。

3. やりがいを感じたり、楽しい・うれしいと思ったりするのは、どんなときですか。

何と言っても、「知らないことを知ることができ、そのことを多くの人に伝えることができる！」ことです。

番組を作るディレクターたちは日本全国、世界中を駆け巡って、今、世の中で起きていることや、見たこともない景色や文化、多くの人たちの喜びや悲しみ、いろいろな意見や声を取材しています。

その番組スタッフの一員として番組制作に関わることで、広い世界、多くの人たちと多くの出会いがあり、気持ち豊かになります。

ふるさと塩尻の魅力も、この仕事を通じてあらためて感じる事ができました。

4. 中高生のとき好きだった本や熱中していたことなどを教えてください。

中学、高校時代に急激に音楽にのめり込みましたが、当時はまだインターネットがない時代だったので、情報は手帳には手に入りませんでした。本やレコード、映画やテレビなど使えることは何でも使い、片っ端から音楽を聴き、情報を仕入れました。

小澤征爾さん著の『ボクの音楽武者修行』（新潮社）は何度も繰り返し読みました。小澤さんが若い時にスクーターとギターだけを持って単身ヨーロッパに渡り、文字通り武者修行するという自叙伝ですが、好奇心や冒険心を持ち、実際に挑戦することの大切さや素晴らしさに感動し、強く影響を受けました。今でも、それが自分の原動力となっています。

5. 中高生に、メッセージやアドバイスをお願いします。

どんなことでも「想いはかれます」。夢や目標を持ち、チャレンジすること、創意工夫すること、あきらめないこと！ それさえあれば、ほとんどのことは不可能ではなく実現可能になります。

今はゲームやSNSなどがあるので、実際に他人と関わったり話したりしなくてもことが足りてしまいうことも多いかもしれません。

でも、ぜひ、家族や友人と直接いっぱい話をしてください。「自分とは違う考え方やいろんな考え方、モノの見方があるんだ！いろいろな考え方があから楽しいんだ！」ということをぜひ若いうちに知って欲しいと思います。

中高生という時期は今しかありません。思い切って一歩踏み出し行動してみてください！

☆参考文献

『テレビ業界で働く（なるにはBOOKS）』  
小張 アキコ、山中 伊知郎／著  
ペリかん社





# ☆緑パークしおじり☆

今回のテーマは

## 「平出遺跡」



### ☆「平出遺跡」ってどんな遺跡？

日本三大遺跡にも数えられた大きな遺跡で、縄文時代から平安時代の集落跡が見られる複合遺跡です。昭和27年に国の史跡に指定されました。また、平安時代の緑釉水瓶（県宝）をはじめとして、土器や石器、鉄器などが数多く発掘され、隣接する平出博物館に展示されています。博物館の裏山にある歴史公園には、古墳時代の復元住居や高床倉庫、平出古墳群などがあります。

### ☆遺跡周辺のおすすめスポット

#### 平出の泉(市史跡)

はるか縄文時代の頃から湧き出していたともいわれている「平出の泉」。湧水量は毎秒45リットル。水温は年間平均10度で冬でも氷がはらないそうです。平成22年1月に「長野県の名水・秘水15選」に選定された水は青く澄んだ神秘的な美しさをたたえています。



#### 平出一里塚

平出遺跡の北側には江戸時代の中山道が通っています。道の両側には道標として一里(約4km)ごとに置かれた一里塚が残っています。現在までその原形を保つものはごくわずかですが、この平出一里塚は県下でも珍しい、貴重な交通遺跡です。

引用・参考図書：——(2007).『しおじり学びの道』塩尻市。  
——(2011).『遊ぼう・学ぼう平出のむかしむかし』。平出博物館友

#### 編集後記：

新学期ですね！

青少年担当になり自分自身の中高生時代を振りかえってみることが増えました。

中高生の時にやってあげばよかったな！と思うことがあります。やらないで後悔するより、やってみたほうが良いなと今、私は思います♪

ぜひ、春という新しい季節、どんどん挑戦してみてください。塩尻市立図書館ではみなさんのことを応援しています！

(上野)



こんにちは、改めまして、山端と申します。毎回見ていただいている方は本当にありがとうございます。さて、今回で最終回となるこのコーナーですが、みなさんも学校の卒業式を終え、進級、進学または就職となりますね。いずれにせよ、新しい環境に移ります。3月、4月は別れの季節であり、出会いの季節。卒業生はもちろんですが、クラス替えで友達と違うクラスになり、新しく同じクラスになったり、人と仲良くなることもあるかも知れません。高校3年生の方は既に、進学のための勉強を始めている人もいます。あるいは、高校を卒業後、就職して、現在研修を受けている人もいます。

これから、先生、先輩、上司  
2年間、「山端が行く」の原稿を書かせていただき、間接的にですがみなさんと関わることができとても楽しかったです。ありがとうございます。それでは、またどこかで。  
など、さまざまな人との出会いがあると思います。そして、大人になってみると中学や高校の友達のありがたみがわかってきます。私も、人間関係で悩んでしまうことや、難しい課題があった時など、友達によく相談していました。学生生活という限られた時間の中で出会った人は、一生の付き合いになります。長くなってしまいましたが、新年度、新しい出会いを大切にしながら、はじまっても、悔いややり残しが無いように過ごしましょう。

社会人二年生！

山端が行く

